

蟹江町文化財ガイドマップ

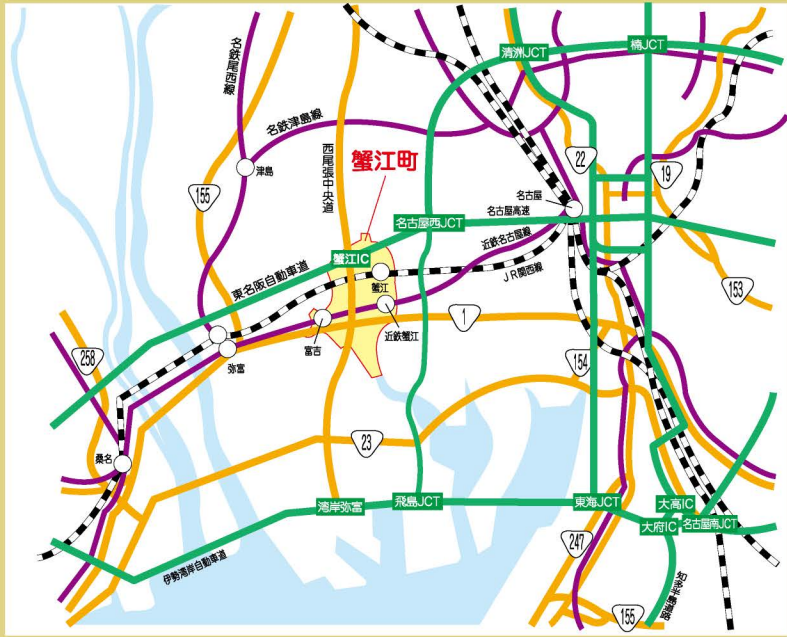
蟹江の文化財



須成祭朝祭(重要無形民俗文化財)

蟹江町教育委員会

●蟹江町へのアクセス



- 車で

 - ・東名阪自動車道蟹江IC下車
 - ・東西方面より国道1号線で
 - ・南北方面より西尾張中央道で
- 電車で

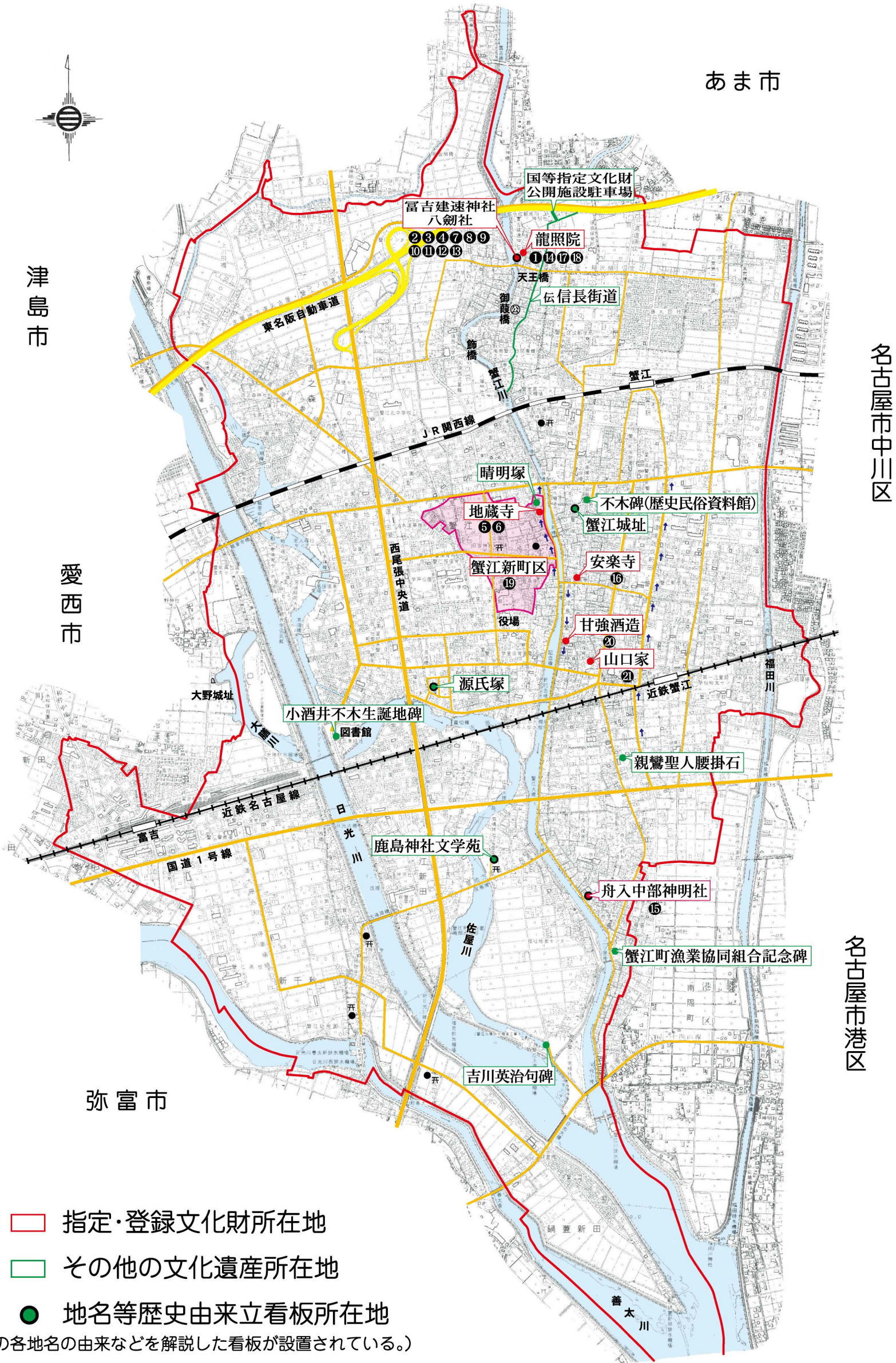
 - ・JR関西線蟹江駅下車
 - ・近鉄名古屋線蟹江駅・富吉駅下車

●問い合わせ先

蟹江町歴史民俗資料館

〒497-0040
愛知県海部郡蟹江町城一丁目214番地
☎0567-95-3812

開館時間 9:00～17:00
休館日 毎週月曜日
12月29日～翌年1月3日
入場無料



- □ □ 指定・登録文化財所在地
- — □ その他の文化遺産所在地
- ● ● 地名等歴史由来立看板所在地
(蟹江町内の各地名の由来などを解説した看板が設置されている。)

蟹江町文化財一覧表

■国指定文化財

番号	種別	名称	員数	時代など	指定年月日	所在地	所有者又は管理者
①	彫刻	木造十一面観音立像	1 躯	平安時代	S6.12.14	須成門屋敷上1364	龍照院
②	建造物	富吉建速神社本殿 付棟札5枚	1 棟	室町時代	S28.3.31	須成門屋敷上1363	富吉建速神社 ・八劍社
③	建造物	八劍社本殿 付棟札3枚	1 棟	室町時代			
④	無形民俗	須成祭の 車楽船行事と神渡流し			H24.3.8	須 成	須成文化財 保護委員会

■県指定文化財

番号	種別	名称	員数	時代など	指定年月日	所在地	所有者又は管理者
⑤	絵画	絹本著色文殊菩薩画像	1 幅	鎌倉末期- 室町初期	S30.6.6	蟹江新町上之割31	地藏寺
⑥	絵画	絹本著色千手観音画像	1 幅	鎌倉末期- 室町初期			

■町指定文化財

番号	種別	名称	員数	時代など	指定年月日	所在地	所有者又は管理者
⑦	工芸品	銅鉄造釣灯籠	1 基	江戸時代			
⑧	工芸品	神前鏡	1 面	江戸時代			
⑨	工芸品	石造狛犬	1 基 付1点	江戸時代			
⑩	彫刻	木造狛犬	1 対	江戸時代	S54.7.23	須成門屋敷上1363	富吉建速神社 ・八劍社
⑪	歴史資料	棟札	1 枚 付9枚	安土・桃山 ~江戸時代			
⑫	有形民俗	須成祭山車人形	2 軀				
⑬	有形民俗	彩色陶製狛犬	1 対				
⑭	天然記念物	須成龍照院のイチョウ	1 樹	樹齢400年以上	S58.3.1	須成門屋敷上1364	龍照院
⑮	天然記念物	舟入中部神明社のイチョウ	1 樹	樹齢400年以上	S58.3.1	舟入三丁目275	舟入中部神社
⑯	彫刻	木造薬師如来立像	1 軀		S60.11.28	城二丁目86	安楽寺
⑰	彫刻	木造大日如来坐像	1 軀		S60.11.28	須成門屋敷上1364	龍照院
⑱	工芸品	鰐口	1 口	室町時代			
⑲	無形民俗	蟹江新町日吉神楽			S63.4.1	蟹江新町	蟹江新町区

■国登録文化財

番号	種別	名称	員数	時代など	登録年月日	所在地	所有者又は管理者
⑳	建造物	甘強味噌田本社事務所・ 工場・住宅主屋・土蔵	4 棟	明治・昭和	H17.11.10	城四丁目1	甘強酒造株式会社 ・個人
㉑	建造物	山口家住宅主屋・茶室・表門	3 棟	江戸後期- 明治時代	H23.1.26	城四丁目215	個人

【その他の文化遺産】

■蟹江城址

蟹江城は永享年間(1429～1440)に北条時任が築城したといわれている。本丸・二ノ丸・三ノ丸の三郭があり、大野城・下之市場城・前田城の3つの支城があった。天正12年(1584)に秀吉軍と織田・徳川連合軍によるこの城をめぐる戦いがあり、織田・徳川連合軍が勝利。城は翌年の大地震で大破、現在は石碑と本丸井戸跡が残るのみである。

■清明塚

平安時代中期の陰陽師である安倍清明がこの地を訪れ火伏せの祈禱をしたといわれている。塚には、清明の使用したほら貝や刀が埋められているという。

■源氏塚

平治の乱(1159)で平清盛に敗れた源義朝が知多の内海へと逃れる途中、当時は小島であったこの地へ立ち寄ったとされている。これが源氏の地名の由来になったという。石碑が立てられており、現在は源氏塚公園となっている。

■親鸞聖人腰掛石

文暦2年(1235)ごろ、親鸞聖人が関東から京都に向かう途中この地に寄られ、周辺に住む漁師たちを集めて野天説法をした後、この石に腰掛けて休息したという伝説がある。現在も聖人の石造とともに安置され、信仰の対象となっている。

■蟹江町漁業協同組合記念碑

昭和30年代まで蟹江川河口には漁港があり当地は漁村として栄えていた。しかし伊勢湾台風来襲後、名古屋港の高潮防波堤建設のために漁協は伊勢湾の漁業権を放棄、解散に至った。そこで蟹江の漁業の繁栄を後世に伝えるためにこの記念碑が建てられた。

■鹿島神社文学苑・吉川英治句碑

鹿島神社文学苑は水郷の美しい風景を後世に伝えようと造られた。この地を訪れた俳人らの句碑が26基ある。その近くの夜寒橋から佐屋川沿いの桜並木を河口まで進むと、終点に「佐屋川の土手もみちかし月こよひ」と詠んだ吉川英治句碑がある。

■小酒井不木生誕地碑

小酒井不木は、新蟹江村(蟹江新田)出身で明治末から昭和初期にかけて医学者、探偵小説家、俳人として才能を発揮した。平成16年、その業績をたたえ有志がこの生誕地碑を建てた。揮毫は小学校の後輩にあたる黒川紀章による。

■不木碑

小酒井不木は、日本の探偵小説の黎明期に活躍し多くの作品を残しただけでなく後輩育成にも力を注いだ。特に江戸川乱歩とは親交が深く、不木が昭和4年(1929)に没した後も遺族と交流があり、乱歩は33回忌に八事霊園の墓の隣にこの不木碑を建立した。平成21年、遺族からの寄贈を受け歴史民俗資料館に移設された。

■伝 信長街道

織田信長が清須攻めの時に通った道だと伝えられる道。蟹江町須成の善敬寺から七宝・大治・甚目寺・清須へと通じている。町内の街道には織田木瓜の目印と案内看板が設置されている。



